

高糖分WCS用稲品種を活用した 微細断収穫•調製体系

~高品質と低価格の両立~

農研機構 西日本農研 高橋 仁康



広島県立総合技術研究所

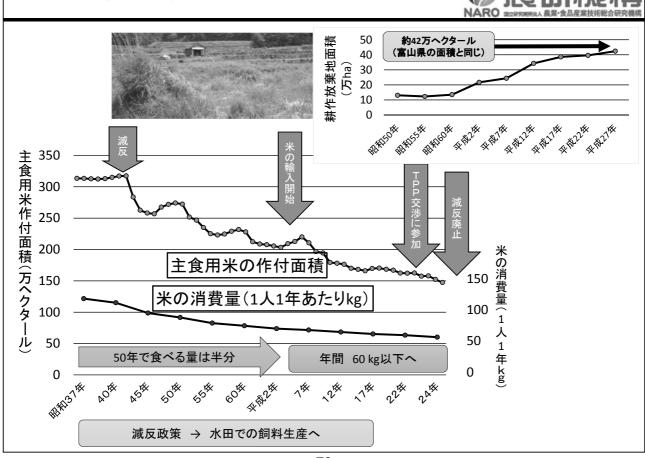
農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業(実用技術開発ステ 25073C 『画期的WCS用稲「たちすずか」の特性を活かした微細断収穫調製・給与体系の開発実証』 H25-27

農水省委託「栄養収量の高い国産飼料の低コスト生産・利用技術の開発」『高糖分高消化性WCS用稲の効率的な収穫調製作業体系の構築』H27-31

農水省革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト)」『和牛産地を支える水田里山の戦略的展開』H28-30

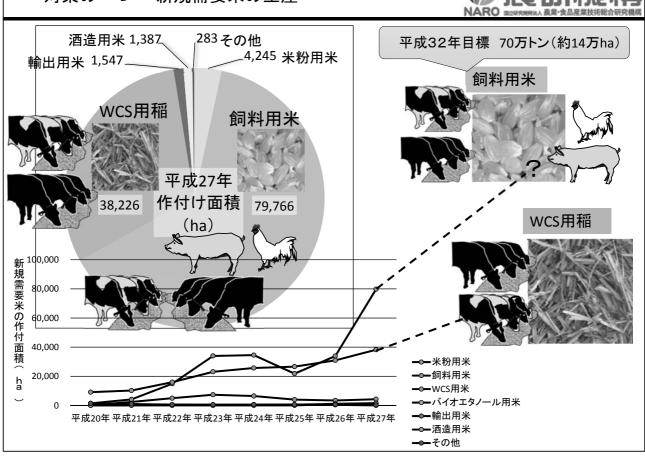
米づくりの転換 と 消費の減少 耕作放棄地の増加

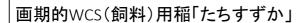




対策の一つ 新規需要米の生産

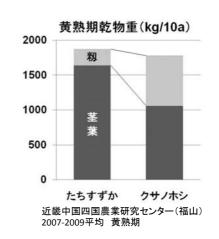






農研機構 NARO EIGHTANNAL 最新全島區軍技術総合研究機構





籾がクサノホシの1/3

耐倒伏性が極強

長稈で高収量

高糖分、高消化性で栄養価が高い

栄養損失が小さく収穫適期が長い

種子生産面積が必要

面積当たり収穫時間が増加

「たちすずか」の普及とともに長稈対応収穫機の要望が高まっている

画期的WCS用稲「たちすずか」栽培マニュアル







<u>「た</u>ちすずか」 「クサノホシ」

収穫適期: 出穂後35日以降

「たちすずか」等の極短穂品種は、 穂が充実してから茎葉に糖分を蓄積!

> 高糖分・高消化性 WCS用稲の品種 育成がさらに進む



西日本農業研究センター ホームページ トップ>技術マニュアル よりダウンロード http://www.naro.affrc.go.jp/warc/original _contents/tech/index.html

2016年12月6日 自給飼料利用研究会 資料



ここからは 慣行体系





の説明





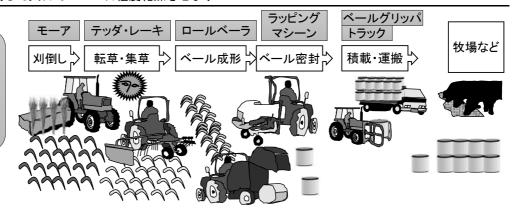


慣行体系: 圃場でロールベール調製



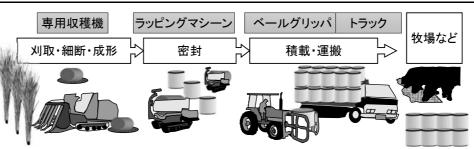






立っている稲を収穫・調製します(ダイレクトカット)





慣行体系: 飼料用稲(WCS用稲)専用収穫機





注)写真はWB1030HC

細断型ホールクロップ収穫機

(WB1030DX)(HC)

53 kW(72馬力)

5条刈り

自脱型コンバインヘッダ

ディスクカッタ

全長5,500 mm

機体重量 4,230 kg

ネット結束(細断型)

平成27年7月時点でのカタログ仕様

汎用型飼料収穫機

SMR1000+MH

72 kW(98馬力)

5条刈り

マルチヘッダ(新)

シリンダカッタ

全長6, 170mm

機体重量 5,170kg

ネット結束(細断型)

慣行体系: 圃場でロールベール調製

(細新型が主流)





慣行体系: 圃場でラッピング





自走式 (クローラ タイプ)

トラクタ 装着式





(株)タカキタ_HPより SW1110



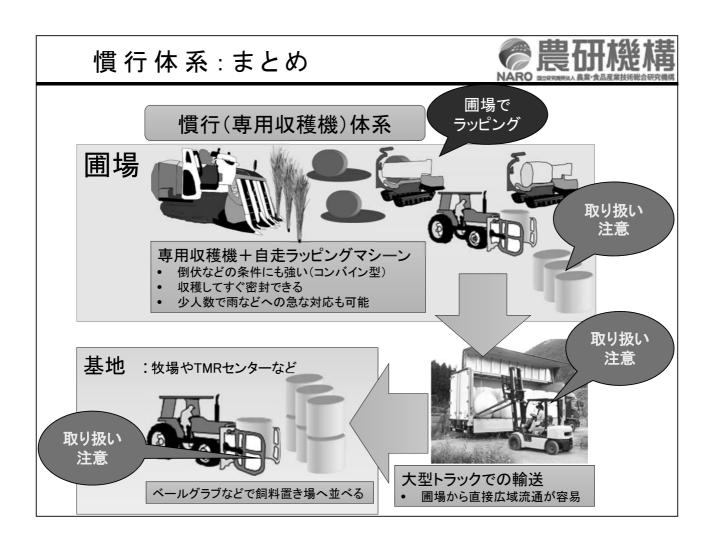
(株)タカキタ_HPより SW1120D



(株)IHIスター_HPより JWM1500

中四国地域では、水田に対応したクローラタイプが主流

フィルムは必ず6層以上で巻きます(品質保持)。 輸送時の破損防止や高品質化のため、8層、10層で巻く事例もあります。



2016年12月6日 自給飼料利用研究会 資料



ここからは 新しい微細断体系





の説明









新技術:微細断体系(基地調製)





基地 :牧場やTMRセンターなど

ロールベール調製



サイロ調製 (低コスト)





新技術:「たちすずか」+微細断+乳酸菌

NARO BES

新技術 投入の 効果

高糖分「たちすずか」

WCS用稲の微細断

酢酸生成型 乳酸菌

効果

または

対策

収穫について



△長稈·多収

◎積載量向上

△速度低下

◎10アールあたり長稈対応微細断収長稈対応微細断収

微細断収穫

機

クヘ 積載する・ールあたり約・

3

回

◎高密度輸送 ◎台数燃料減少

効果

輸送について

1トン以上を輸送する◎1トン以上を輸送するの3トン深ダンプで一度にり迅速な積み込みのバラ積みによ

サイロ調製



◎高糖分

◎高密度

◎2次発酵防止

効果

◎従来困難とされたWCS 用稲のバンカーサイロ調製 を実現 の乳酸菌の効果で2次発

牛への給与について



◎高栄養·高消化性

◎飼料品質向上

○マイナスの影響なし

◎飼料品質向上

効果

ことを確認◎微細断による影響がない◎飼料価格低下で所得増乳量・肉質向上

汎用型微細断収穫機の構成



①**台車**

・ヤンマー製コンバインベース - 草丈0.8m以上に対応

-100馬力(DPF付き)

②マルチヘッダー

- ・作業幅1.8m全面刈り

③ハーベスター

- 省エネアップカット方式
- •微細断対応

<u>④ワゴン</u>

- •容積5.2m³
- 後方ダンプ式



※写真は開発中のもので実際と異なる場合があります

Takakita 株式会社 911年9

汎用型微細断収穫機 : 適応作物



WCS用稲(長稈対応)、WCS用麦な どの飼料作物

飼料用トウモロコシ・ソルガム等 の長大作物

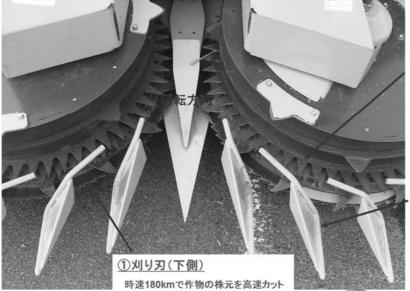


※写真は開発中のもので実際と異なる場合があります

マルチヘッダの構造



刈り幅内にある作物をすべて株元で切断し、ハーベスターに送り込みます。



②搬送ドラム(上側)

刈取りと同時に作物を時速6km でハーベスターに搬送

③デバイダ

・作物が離れないように、 搬送中の作物をガイド

写真 提供: **Takakita**

株式会社911年9

※写真は開発中のもので実際と異なる場合があります

ワゴンの構造





1回で2トンダンプに移送(1トン以上)が可能



写真 提供:

Takakita

株式会社四十十四

※写真は開発中のもので実際と異なる場合があります

新: 刈り高さ10cmが可能(圃場条件が良い場合)





新:湿田での作業風景





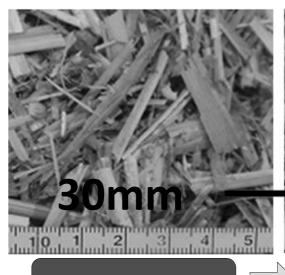
イネに泥がつきません 湿田でも安定した作業

イネの表面水が落ちれば 水はけの悪い圃場でも 収穫に入れます ※高水分でのサイレージ品 質劣化に注意して下さい



新:微細断体系 理論切断長





高糖分・高 消化性 WCS用稲 で実証

理論切断長を1/5へ



密度上昇

注意: 乳用牛は6mm、 肉用種肥育牛は 11mmで給与実証 試験が終了して います。



輸送効率の向上、サイレージの品質向上











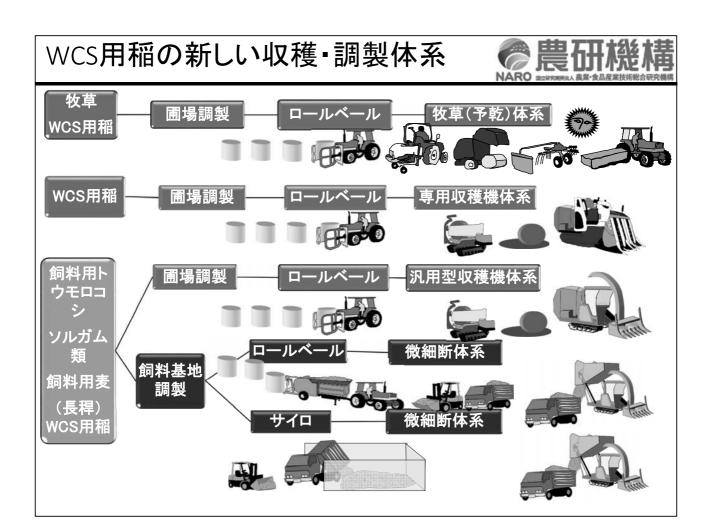


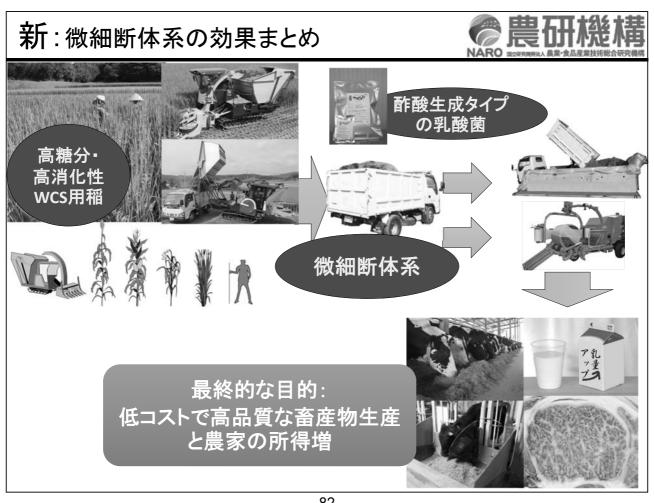
鳥取 東部コントラクターさん





群馬 元気ファーム20さん





参考:ケンパー社製フォレージハーベスターでの大型体系





新:微細断体系は、近距離輸送で低コスト

Kemper c2200 + 100kw tractor



orkel mc1000 + 74kw tractor

輸送を同時に行う体系

(輸送の人件費を含む)

群馬県前橋市 元気ファーム20さん

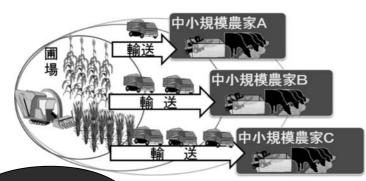
享用収穫機体系

稲WCS収穫・調製コスト(円/10a) ■その他 ■燃料費 ■資材費 ■機械費 ■簡易サイロ ■ロール輸送費 ■人件費 慣行体系 5 | 10 | 15 | 20 | 25 | 30 | 5 | 10 | 15 | 20 | 25 | 30 片道輸送時間(分) 簡易パンカーサイロ バンカーサイロ調製 ロールベール調製 (コンパネサイロ利用) 微細断収穫·調製体系 ロール輸送費 (輸送の人件費 が含まれる)

微細断体系

新: 微細断体系の様々な利用方法





飼料地帯から中小規模農家 のバンカーサイロへ分配する (最小機械体系)

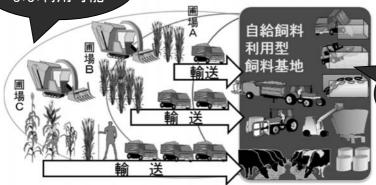
飼料地帯付近のストックヤード へ集約する

周辺圃場からTMRセンター等大規模飼料基地へ集約する

自給飼料利用型TMR センターでは バンカーサイロが取り 出しやすい

100ha規模のTMRセンターが200日 稼働すると、1日40~50ロール開封!!

多品目にそのまま利用可能



もっと知りたい方は(マニュアル)



画期的WCS用稲「たちすずか」の特性を活かした
低コスト微細断収穫調製・
給与マニュアル

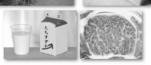
西日本農業研究センターのホームページ (http://www.naro.affrc.go.jp/warc/index.html) の技術マニュアルからダウンロード 可能



- 「たちすずか」について
- 収穫調製作業~サイロの作り方
- 発酵品質
- サイロ調製の注意点
- 乳牛・肥育牛への給与
- 繁殖牛・育成牛への給与
- 経営評価・コスト

[西日本農研]で 検索

→西日本農業 研究センター ホームページへ →『技術マニュ アル』



冊子はまだ余部があります

参考:西日本農研 工作室にて試作した収穫機





1号機:長稈対応、コンバイン型

2号機:現地実証対応、リール型



3号機:実証長稈対応、コーン兼用型

4号機:小型長稈対応、フレール型

市販化

試作機製作:西日本農研工作室 西日本農研工作室 西日本農研工作室

平成28年度 自給飼料利用研究会 資料

編集・発行 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門 企画管理部 那須企画管理室 企画連携チーム Tel. 0287-37-7005 Fax. 0287-36-6629 〒329-2793 栃木県那須塩原市千本松 768 番地

発 行 日 平成 28 年 12 月 5 日

印 刷 所 株式会社 近代工房 Tel. 0287-29-2223

本資料より転載・複製する場合は、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構の 許可を得て下さい。